

議会だより わどまり



第159号

Contents

令和5年度 当初予算	2P
令和5年度 重点新規事業・人事案件	4P
こんなことが決まりました	5P
8名の議員が町政を問う	6P
絆のボタン・活動報告	14P



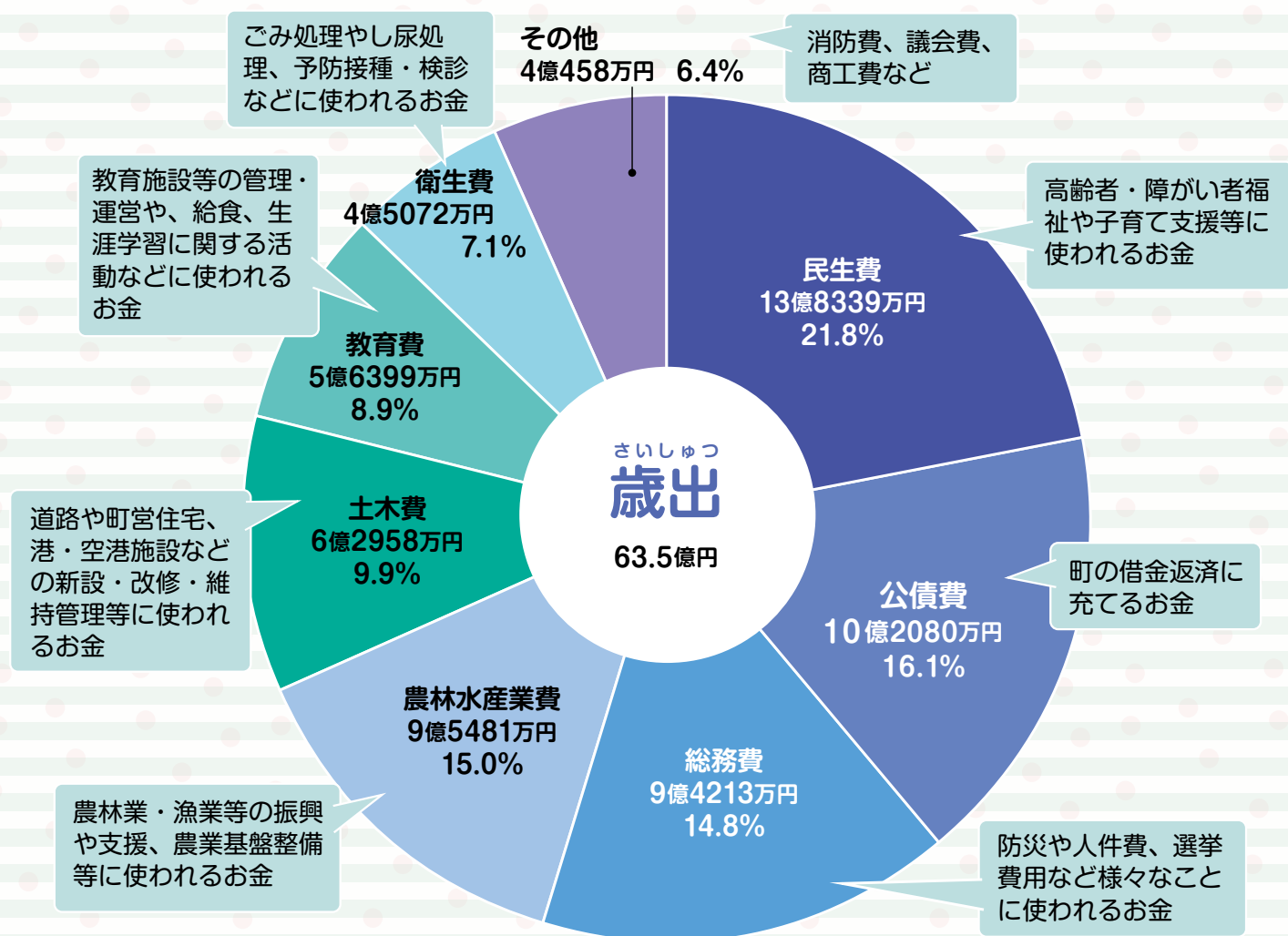
左の二次元コードをスマートフォン
などで読み取ると、町議会のホーム
ページにリンクします。

予算編成

令和 **5** 年
第1回 定例会
3月7日 ▶ 17日

一般会計（歳出・歳入）

63.5 億円【前年度対比 5000 万円 **増**】



※グラフの数字は端数処理のため、必ずしも合計金額と一致しない。

令和5年度特別会計等予算額（下水道事業・水道事業会計の資本的事業は除く）

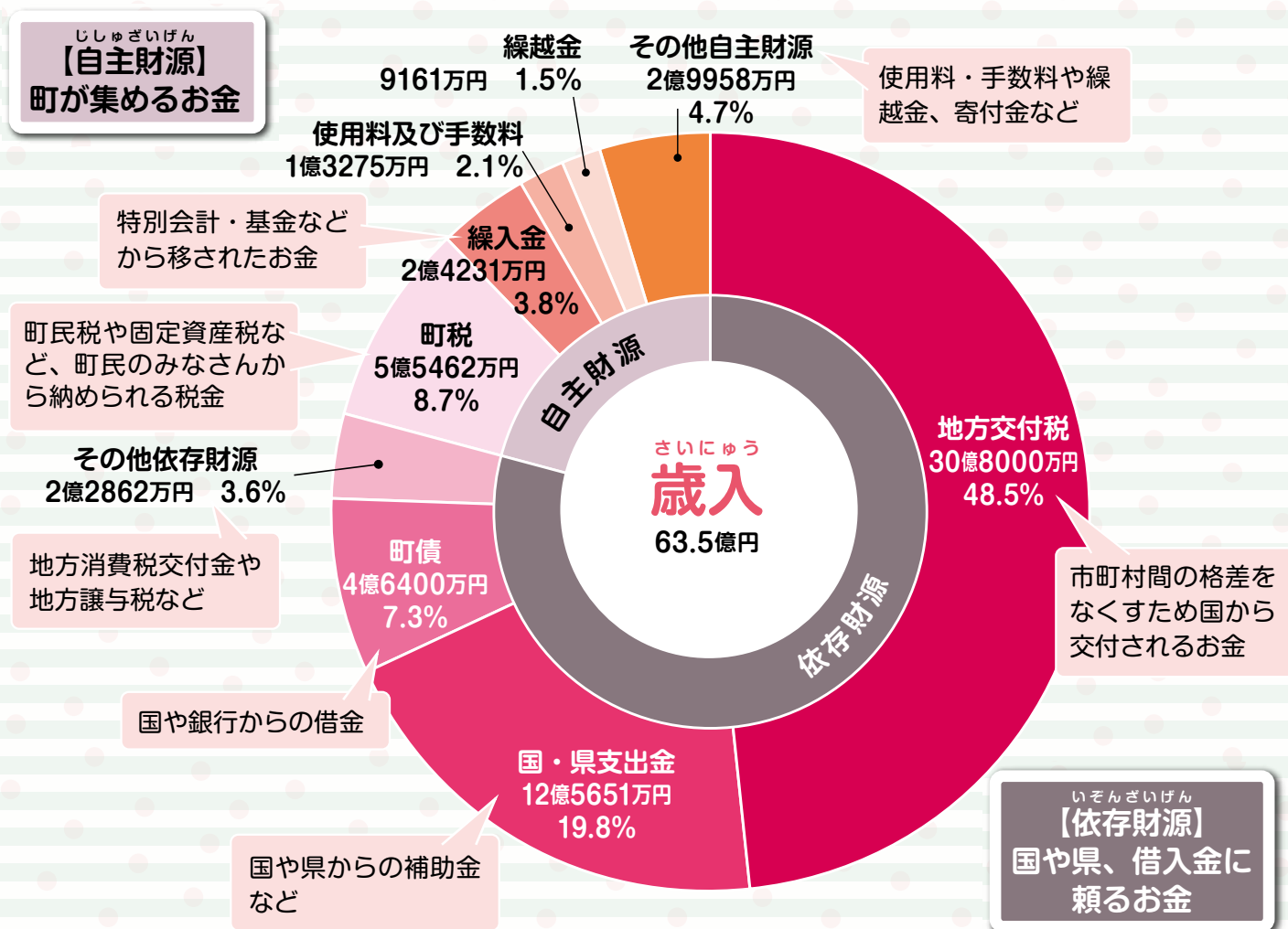
項目	今年度	前年度比
国民健康保険特別会計	10 億9851 万円	1283 万円 増
介護保険特別会計	9 億5688 万円	1406 万円 増
後期高齢者医療特別会計	9806 万円	103 万円 減
下水道事業会計(収益的事業)※	4 億1207 万円	
奨学資金特別会計	725 万円	420 万円 減
水道事業会計（収益的事業）	1 億9671 万円	1613 万円 増

※ 令和4年度までの農業集落排水事業特別会計は、本年度より下水道事業会計（収益的事業）に含まれている。



令和5年度 当初

第6次総合振興計画の推進 和泊町ゼロカーボンシティの実現



一般会計予算の推移

R 5 年度	63億5000万円
R 4 年度	63億0000万円
R 3 年度	63億4898万円
R 2 年度	61億9525万円
H31 年度 (R1 年度)	64億4055万円
H30 年度	68億9730万円

令和5年度 重点新規事業一覧

(単位：千円)

番号	事業名	担当課	事業費 (自己負担等除く。)
1	重点新規健康応援事業 ・タラソおきのえらぶトレーニングジム機器更新費用及びインボディ測定機購入費用。	保健福祉課	13,500
2	重点新規海岸漂着物等地域対策推進事業 ・海岸漂着物等の回収・発生源分析・処理を行い、海岸環境、住民の生活、海岸漂着物の関わりを学ぶ環境教育を実施。	教育委員会	4,543
3	重点新規えらぶゆりリバイバル事業 ・えらぶゆりの生産減少が続く中、「省力化に向けた実証」「りん片作付面積に対する交付金の交付」「球根更新に対する球根助成」を行うことで産地の維持・拡大を図る。	経済課	5,000
事業費合計			23,043

pickup

人事案件

和泊町固定資産評価員の任命

辞職に伴う同意

やまだみちお
山田充雄 氏 (64歳・手々知名)

無記名投票による採決

投票総数 11票

賛成 11票 反対 0票



■令和5年 第1回 定例会 (3月7日～17日)

議案等番号	件 名	議員名（議席番号順）											議事結果
		山口明日香	島田浩樹	森富隆	川畑宏一	池田正一	喜井和夫	児玉実隆	東弘明	中田隆洋	山下幸秀	桂弘一	
	【表の見方】 報：報告 承：承認 諮：諮問 議：議案 陳：陳情 発：発議 ◎：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 ー：表決権なし												
報 1	専決処分の報告について	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
陳 12	日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	採 択
陳 3	犯罪被害者等支援に特化した条例制定の要望（仮称）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	採 択
承 1	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度和泊町一般会計補正予算 第6号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	承 認
議 1	和泊町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 2	和泊町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 3	和泊町過疎地域産業振興促進条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 4	和泊町下水道事業の設置等に関する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 5	和泊町議会議員及び和泊町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 6	和泊町課等設置条例の一部を改正する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 7	和泊町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 8	和泊町新有線テレビネットワーク施設管理条例の一部を改正する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 9	和泊町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 10	和泊町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 11	和泊町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 12	和泊町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 13	和泊町介護予防拠点施設「スマイル館にゃーとう」の指定管理者の指定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	可 決
議 14	和泊町介護予防拠点施設「ふれあい館ガジュマル」の指定管理者の指定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	可 決
議 15	和泊町研修センターの指定管理者の指定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	可 決
議 16	和泊町固定資産評価員の選任について	無記名投票 賛成 11 反対 0											同 意
議 17	損害賠償の和解について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	可 決
議 18	令和4年度和泊町一般会計補正予算（第7号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 19	令和4年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 20	令和4年度和泊町介護保険特別会計補正予算（第3号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 21	令和4年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 22	令和4年度和泊町下水道事業特別会計補正予算（第3号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 23	令和4年度和泊町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 24	令和4年度和泊町水道事業会計補正予算（第2号）の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
発 1	和泊町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	可 決
議 25	令和5年度和泊町一般会計予算の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 26	令和5年度和泊町国民健康保険特別会計予算の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 27	令和5年度和泊町介護保険特別会計予算の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 28	令和5年度和泊町後期高齢者医療特別会計予算の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 29	令和5年度和泊町下水道事業会計予算の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 30	令和5年度和泊町奨学資金特別会計の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
議 31	令和5年度和泊町水道事業会計予算の議決について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	原案可決
陳 4	総合交流施設（仮称）早期整備について（要望）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	可 決
	議員派遣について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	可 決
	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	可 決
	各常任委員会の閉会中の継続調査申出書について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	可 決
	脱炭素先行地域事業調査特別委員会の閉会中の継続調査申出書について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	可 決

※永野利則議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決 (賛成・反対の意思表示) 権はありません。

ココが聞きたい 一般質問 町政を問う!!

令和5年第1回
議会定例会

- 中田 隆洋議員
町民福祉のための
財源確保を…………… P6
- 桂 弘一議員
町民に対する
説明責任を問う…………… P7
- 山口 明日香議員
安心安全な
子育て環境を!!…………… P8
- 池田 正一議員
全ての町民が楽しく
過ごす和泊町へ…………… P9
- 川畑 宏一議員
先を見据えた
施策展開を!!…………… P10
- 児玉 実隆議員
適うか夢のゼロ宣言…………… P11
- 東 弘明議員
「未来の宝」一人の子供を
大切に!!…………… P12
- 島田 浩樹議員
子どもたちが活躍できる
環境を!!…………… P13

一般質問とは??

議員が町の行財政全般について、事務・予算等の執行状況や、今後の考え・方針を聞き、疑問点を質すこと。



町民福祉のための財源確保を



なかだ たかひろ
中田 隆洋 議員

水道事業

問 中期的視点に立った財源運営について。

答 水道事業は、水道料金の収入で運営しているが、給水人口の減少に伴い給水収益が減少する中、原油価格が高騰し、電気料金や材料費等の大幅な値上げ

により、非常に厳しい運営が続いている。

今後、施設の更新・耐震化工事を実施するため、新たな企業債の借入れを行う予定である。

管路は、財政状況に応じた更新や道路改良工事にあわせて布設替え工事を随時行っていく。

引き続き、未収金の徴収強化、水道料金の改定や経費削減に取り組み、水道事業運営に必要な資金確保に努めていく。

沖永良部土地改良区の運営支援

問 今後の運営支援について。

答 土地改良区の健全な運営を確保することで農作物に必要な水の安定供給と農家の所得向上に寄与することから可能な範囲で支援していく。

空港整備

問 県の滑走路端安全区域の整備検討に合わせ

て、滑走路延長の要望をする考えはないか。

答 滑走路延長は難しいのではないかと現時点で

は考えるが、今後も、状況の変化を見極め、必要に応じて要望をしていきたい。

犯罪被害者等の支援

問 安心して暮らせる地域社会に寄与するためにも条例化する考えはないか。

答 相談体制の充実を図り、自立に向けた支援をしているところだが、支援体制をさらに充実させ、受入体制を整えていくためにも、今後は見舞金、貸付金、弁護士費用の助成等の金銭的な制度を盛り込んだ条例を整備する。

町民に対する説明責任を問う



かつら ひろかず
桂 弘一 議員

町長の政治姿勢と行政手法

問

副町長の任期途中での突然の辞職についての町民に対する説明として、行政報告だけでは事足りないのでは。

答

副町長の辞職については、先の行政報告において説明したとおり。

事足りないとの指摘であるが、この度の辞職については、県や副町長と協議を行い、総合的な判断のもと、県へ派遣の終了を要請した。

問

サンサンテレビについてのアンケート調査を実施したが、その後の経緯は。

答

「有線テレビの今後の在り方に関するアンケート」については令和4年12月議会定例会においてアンケート結果の概要を報告した。

今後は条例改正が可決されたのち、和泊町新有線テレビ放送施設審議会に諮問し、方向性について検討していく。

問

和泊町総合交流施設建設を更に推進する会の委員資格を55歳以下としたのは何故か。

答

新たな視点で次世代を担う若者、特に現役世代及び指導者を中心に選定しているが、必要に応じて、他団体からの意見を聴取するなど、建設に向けて柔軟

に対応していく。

問

脱炭素先行地域事業に対する町民理解が得られていないように思うが、町民説明会等の必要性についてはどのように考えているか。

答

脱炭素先行地域づくり事業について、町民の皆様から理解を頂くには、町民説明会の実施が最も効果的であり、必要であると考えている。

※再生可能エネルギーの導入やEVの促進、ごみの資源化などの取り組みを計画しているが、関係機関と具体的な検討を進める中で、再生可能エネルギーの連携拡大における課題等が判明し、事業内容を見直す必要が生じた。現在、採算性等を含め、事業内容の見直しを行っているところ。

今後、関係機関との協議等を整理したうえで、具体

※再生可能エネルギーとは？

再生可能エネルギーとは、自然界に存在するエネルギーの事。

太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱、その他自然界にある熱、バイオマスなどがある。



的な事業内容や採算性を明確にし、町としての方向性を決定した段階で、町の取り組みや事業の目的について、町民の皆様にも正確な情報をお伝えできるよう町民説明会や、理解促進のための講演会等を実施したいと考えている。

安心安全な子育て環境を!!



山口明日香 議員

子育て支援

問 各こども園・保育園の
保育環境の改善は。ま
た、保育士の人員確保は。

答 充実した保育を実施す
るため、令和3年度か
ら令和4年度にかけて、各
こども園・保育園において、
業務をICT化するシステム
を順次導入している。人員
については、現在のところ各
園において保育士の配置基
準を満たしているが、低年
齢児や療育支援の必要な園
児への細やかな配慮も求めら
れており、保育士に係る負

担は増大していることから、
会計年度職員を配置し負担
軽減を図っている。

※ ICT 化って?

インターネットやスマホア
プリなどを利用して、保育士の
日々の業務を軽減し、効率化
を図ることができるシステム。

本町では午睡チェックや園
児の出欠管理、保護者への連
絡、保育に関する計画や記録
等の業務に順次導入している。



産婦人科の存続について

問 島内唯一の産婦人科の
存続が危機的状況にあ
るが、早急な対策は。

答 現在、島内で分娩が
可能な医療機関は1施
設、常勤する産科医師は1
名、24時間体制で、昼夜を
問わず対応している。

常勤医師不在時には、非
常勤の産科医師で対応して
いる。当該産科医療機関に
おいては、現在、令和6年
度からの常勤医師1名増員
確保に向けて検討している。

本町としても、新たな医師
確保に向けて知名町と連携
を図り、当該医療機関や医
師会等と協議調整し、鹿児
島の補助
事業等の活
用を視野に
入れながら
対策を進め
ていく。



AEDの設置・活用

問 各小学校でのAED設
置場所は。また、救命
講習の取り組みは。

答 現在、各小中学校には、
町から1台ずつAED
が配付されており、職員室、
または職員室の廊下のい
ずれかの場所に設置。救命講
習の状況は、現在、すべての
小・中学校で、教職員・保護
者を対象に消防署の職員を
講師に招き、講義だけでなく、
実技・演習を伴った体験
的な講習会を開催している。
教育委員会は、各学校に対
して、救命講習会を年間計
画に明確に位置付け、年1
〜2回は必ず実施するよう
指導している。



▲ 和泊町役場正面
玄関入口に設置

全ての町民が楽しく過ごす和泊町へ



いけだ しょういち 池田 正一 議員

施政方針

問

切花等において、自然災害に備えた施設整備について、現在の状況・今後の予定は。

答

現在の状況としては、平張施設が約32ha、農業用ハウスが約30haを整備。令和6年度以降も要望があれば鉄骨平張施設や営農ハウス等を整備する予定。

平張施設



問

畜産において栄養価の高い自給粗飼料生産の取り組みは。

答

実験農場において、子牛用の粗飼料として「暖地型牧草トランスバール」を栽培実証し推進を図っているところ。

今後は、実験農場にある展示ほ場を種苗ほ場用として栽培面積を増やしながら、畜産農家への周知及び普及に取り組んでいく。

実験農場ほ場



問

スポーツの活動拠点となる、総合交流施設建設の進捗状況と今後の予定は。

答

新たな組織として、「和泊町総合交流施設建設を更に推進する会」を設置し10名で構成した。これまでに2回開催した会議では、建設候補地を町民運動広場周辺、規模においてもメインアリーナにサブアリーナを含めた案に絞った。

今後の予定としては、令和5年度中に和泊町総合交流施設建設を更に推進する会と役場職員で構成するプロジェクトチームで協議を進めた後、地質調査・基本設計など建設に向けて必要な手続きに取り組んでいく。

議会を傍聴してみませんか。

議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。

定例会は、年4回(通常3・6・9・12月)、また必要に応じて臨時会を開催することもあります。

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見ることができます。お気軽に議事堂にお越しください。お問い合わせは、議会事務局(92-2569)まで



次回定例会… 6月13日(火) ～ 16日(金) 予定

先を見据えた施策展開を!!



かわばた こういち 議員

持続可能なまちづくり

問 脱炭素化の実現へ向けた取り組みは。

答 新設する「脱炭素推進室」に、再生可能エネルギーに関する専門的な技能を有した人材（総務省の制度を活用）と専任職員を配置し、事業を強力に推進する。

脱炭素先行地域づくり事業における再生可能エネルギーの設備導入は、令和5年度に知名町文化ホール周辺で実証を行い、本町では令和6年度から本格的な実

施を検討している。

高齢者福祉

問 「和泊町高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」の策定に向けた現状と課題は。

答 本町の高齢化率は団塊世代が後期高齢者となる2年後には39.1%まで上昇することが見込まれる中、介護人材の不足が喫緊の課題。また、長引く「コロナ禍」の外出機会減少に起因するフレイルの予防や、住み慣れた地域で生きがいを持つて社会参加できる環境の整備、認知症高齢者の地域での生活を支えるための取り組み強化が必要。

今後は、高齢者等実態調査の分析結果をもとに介護保険サービス事業者に対す

るヒアリング等を実施し、介護保険事業計画策定委員会で議論を重ねていく。

※フレイルとは？

高齢者の筋力や気力が低下し、介護が必要となる一歩手前の状態。

インボイス制度

問 制度の理解と対応状況は。

答 適格請求書「インボイス」を発行するために、税務署へ登録申請をする必要があり、町でもサンサテレビの文字広告・広報誌及びSNS等において周知・広報を行っている。商工業では一定の理解が図られていると思われるが、農業については特に個人事業者の経営規模や取引内容の違いが大きいため現状把握が、難しい。

今後も国の動向に注視し啓発に努めるとともに、和泊町もいち事業者として円滑な対応に向けて庁内体制整備を図る。

〈問い合わせ先〉

和泊町役場総務課

教育環境整備

問 学校施設の修繕状況は。

答 今回は73件の修繕要求があり、危険箇所等を最優先に実施。本年度中に17件、令和5年度に予算計上するものを含め来年度中に7割まで対応予定。緊急なものは随時対応する。また、来年度は各学校の施設点検委託業務や学校施設長寿命化計画に沿って予防改修を行うための設計業務委託を計画している。

適^{かな}うか夢のゼロ宣言



こだま さねたか
児玉 実隆 議員

脱炭素政策

問 マイクログリッド事業に係る総事業費と補助率は。

率は。

答 今年度、事業の検討を進める中で、離島ユニバーサルサービス調整単価の適用により、本土で採用されている部分供給や卸供給のビジネスモデルが適用できないことが判明し、マイクログリッドによる小売事業が出来ないことから、実施場所を含め、計画の見直しを行っている。補助率については、太陽光パネルに対しては

3分の2、DGR（デジタルグリッドルーター）及び蓄電池に係る費用に対しては4分の3となっている。

※ DGR（デジタルグリッドルーター）

電力の送り先をスイッチのように切り替えるものではなく、連続的に電力の増減を行いながら、切り替えていくシステム。

問 維持管理費用等は電気料金で賄えるのか。

答 維持管理費用等については、現在、事業の見直しを行っている段階であり、地域エネルギー会社、在り方や運営方針によって考え方が変わるため、現時点ではつきりと申し上げることはできないが、地域エネルギー会社を民間企業かつ太陽光発電システムを所有する

る事業者とし、設備に係る固定料金型方式で契約を行う形態で実施する場合には、自治体における維持管理費用等は発生せず、自治体の負担は電気料金削減額相当の固定契約料金となるため、実質、設備導入に係る費用は電気料金相当で賄えるものと考えられる。



▶ タラソの風力発電設備

町長の政治方針と活動

問 副町長の辞任の理由は。

答 副町長の辞任については、各新聞社等の記事にもあったとおり、様々な案件に対し、県や副町長と協議した結果、総合的な判断のもと、県へ派遣の終了を要請した。

問 県との信頼関係をどう改善するのか。

答 本町だけですべての政策を実現するには限りがあり、事業や施策を推進するなか、国や県との連携は重要であると考えている。

今後それぞれの役割や責任を明確化し、関係機関との相互理解に基づく一体的な連携を緊密に図り、行政の課題解決に向け取り組む事が重要であると考えている。

「未来の宝」一人の子供を大切に!!



ひがし ひろあき 議員
東 弘明

子育て支援

問 児童手当の大幅な拡充は。

答 児童手当は、中学校卒業までの児童を養育している方が対象。

児童手当の大幅な拡充として、支給額の増加、支給対象年齢の拡大、所得制限の撤廃等が考えられるが、国の動向も注視しながら、財源の確保等も含めて慎重に検討しなければならない問題だと考えている。

問 不妊治療を含む、妊娠前から出産・子育て期にかけて、切れ目のない支援の充実は。

答 不妊治療に関しては、昨年4月から保険適用

となっており、島外において保険適用による特定不妊治療を受ける際には、対象者の経済的負担の軽減のため、旅費の一部助成を行っている。今年度からは、国が実施する伴走型相談支援及び子育て応援給付金を活用し、関係課が連携して相談事業と応援給付金事業を一体的に実施する。町内全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできる環境の充実を図っていく。

問 子育て支援課の必要性は。

答 庁舎内において、子育て分野に関する事業等の調査を行い、子育て環境の整備を推進するためには、今後、単独の部署が必要だと考えている。

問 起立性調節障害等、病児・生徒への支援について、対策は。

答 1つ目の支援は、「登校しやすい温かい学級・学校環境づくり」。2つ目の支援は「学習の遅れに対する個別の支援」。3つ目の支援は「民間の療育施設との連携」。町内には、このような困り感のある児童生徒を受け入れられる施設がありますので、そのような施設と学校が連携しながら、学習支援を行っている。

登校できない児童・生徒への支援は、今後もスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用も含め、他の関係機関とも連携しながら取り組んでいく。

問 本町の小中学校における食物アレルギーのある児童・生徒への支援対策は。

答 学校給食センターでは、食物アレルギーに対応した「除去食」及び「代替食」で対応している。

令和5年度は、2月末で23名が就学児健診や進級時の意向調査でアレルギー対応食の提供を予定。3月上旬から順次各学校で面談を行っていく。

学校給食における食物アレルギー対応は、生命に関わることであるため、今後、も細心の注意を払い、丁寧な対応に努めていく。

子どもたちが活躍できる環境を!!

しまだ ひろき
島田 浩樹 議員

施政方針

問 総合交流施設の建設へ向けて更に推進とある

が、具体的な推進計画は。

答

「和泊町総合交流施設建設を更に推進する

会」を設置し、前協議会の答申を基に、建設位置を町民運動広場周辺に絞り、施設規模もメインアリーナにサブアリーナを含めた案に絞ったところ。

今後は、令和5年度中に建設位置を確定し、地質調査を行う。

問

ゆりのふるさと基金事業の寄付金の有効活用は。

答

令和4年度2月末日現在の実績で、寄付金額105,177千円、寄付件数32,810件となっている。

ふるさと納税の活用は、

乳児用品の購入費を一部助成する「乳児用品購入費助成事業」、大城小学校と内城小学校の遊具を整備。子育て世代の負担軽減や教育環境の充実につなげている。

児童生徒の健全育成、スポーツ技能の向上と学習意欲を高めるため、本土で開催されるプロ野球観戦や博物館見学に児童を派遣する「子どもの夢応援プロジェクト」を実施した。

脱炭素先行地域事業調査特別委員会

脱炭素先行地域事業調査特別委員会を設置し、1月10日・2月10日に脱炭素事業に関する財政負担、課題等を調査しました。

《1月10日、財政担当者と脱炭素事業における財政課題を調査した結果》

有利な起債がない為、財政負担の可能性がある。町民の要望調査や脱炭素事業調査も不十分であり、事業推進の場合は、6次総合振興計画にも影響してくる。

《2月10日、担当課と現状における九州電力との協議内容や・脱炭素事業の今後の計画を調査した結果》

地域電力会社を設立した場合、九電送配から卸供給、部分供給について離島ユニバーサルサービスの構造上、インバランス料金単価が適用（現在は30円/kwhだが、今後50円/kwhを超える可能性がある）かなりの電力量がインバランスに該当するため、ビジネスとして成立できるか課題。

また九電送配からは、安定したビジネスモデルで長期運用して頂きたい、途中で投げ出されると困ると要望もあった。

マイクログリッドは売電事業ができない為、計画変更、見直しが必要になっている。

今後も、町民の福祉向上につながる脱炭素社会を目指し、脱炭素先行地域事業調査特別委員会において継続調査を行っていく。





大阪で地中海料理店を
経営していた頃、夫婦の
憧れは南の暖かい島に住

む事でした。そして生きている水が飲める湧き水が
あれば最高だと思っていました。その頃、ネットで
移住に関して検索していると、くらすわどまりの移
住体験住宅というのが目に留まり、体験できるなら
と10年間働いていたお店を閉めて、聞いた事もな
かった沖永良部島に2019年3月に初めて来島しまし
た。その後主人の実家のあるトルコに私用が出来て
1年半程度島を離れましたが、えらぶが忘れられず
2021年の夏に戻り現在に至ります。たくさんの湧
水スポットがありながら飲める湧水はほとんど無いと
知った時はショックでしたが、それ以上に島の方々
の人の良さと優しさに惹かれました。

憧れだった南の島での生活。美しい緑に囲まれ、
夕陽や夜空の星に癒されながらマイペースで仕事を
させて頂いている事に日々感謝しています。

町には、次の世代その次の世代まで食の安全を
含め健康で楽しく安心して暮らせるよう、自然と共
に生きれる町づくりをして欲しいです。



プロフィール

岡本 美奈 さん

大阪生まれ。大阪育ち。
時々トルコ暮らし。

2021年12月にトルコ
人の夫（アイテンアル
ペル）と手々知名に島
の食材を使った古民家
レストラン「うちゅま〜
Kitchen」をオープン。

自然と共に生きられる
町づくりを期待！



経済建設委員会 活動報告

経済建設委員会（喜井和夫委員長他5名）は、2月9日、閉会中の
継続調査①・②として本町の現状と取り組みを調査しました。



①環境保全型農業を推進するため有機農
業の取り組みについて



②労力の軽減や生産コスト削減のためス
마트農業の普及啓発について

編集後記

今定例会において、本町の令和5年度当初予算が決定致しました。

前回の議会だよりから、町民の皆様の手元に少しでも早く定例会の内容や議会活動等が届くよう、編集委員をはじめ議会一丸となって取り組んでおります。

今後とも皆様の手にとってもらえるよう、見やすく・わかりやすい議会だよりになるよう努めていきます。

文責 山口 明日香

委員	副委員長	委員長	編集責任者	議長	発行責任者
山	森	児	島	永	野
口	玉	田		利	
明日香	富隆	実隆	浩樹	則	

今号の表紙

今回の表紙は、大城こども園の園児たち。
四月から、大城小学校・和泊小
学校の一年生です。

